

分科会活動報告 Conductivity Anomaly 研究会

2003年度のConductivity Anomaly研究会は、「火山流体の分布とその挙動」を主テーマとした研究集会を開催した。今回は、通例の地球内部電磁気学に関する研究発表の他、火山学の専門家7名を招待し、2000年に噴火した有珠山のある北海道洞爺湖温泉でご講演頂いた。水文学、地球化学、地震学など、関連分野の手法を用いたアプローチによる火山研究の成果をご紹介いただくとともに、火山電磁気学への要望や提言をいただいた。また、現業機関による火山観測の現状についてもご講演いただいた。

講演会の後、有珠火山西山火口域を見学し現地討論を行ったことも、これまでにない特色であった。

日程: 2003年12月2~4日

場所: 北海道虻田郡虻田町洞爺湖温泉

「かんぼの宿 洞爺」

招待講演 : 8件
一般講演 : 31件
ポスター発表 : 8件
参加者数 : 60余名

12月2日

1. 開会挨拶
2. 地殻活動電磁気学(地震発生の場)
3. 地殻活動電磁気学(火山活動の場 1)

12月3日

4. 地殻活動電磁気学(火山活動の場 2)
5. 地殻活動電磁気学(火山活動の場 3)
6. 特別セッション(火山と流体 その1)

招待講演

「2000年有珠山噴火に伴う地下水変動」
秋田藤夫(北海道立地質研究所)

「有珠火山の活動解析における滞水層の役割」
横山 泉 ほか

「有珠火山の噴火活動と浅部構造」
大島弘光(北大理)

「火山における熱学的・電磁気学的研究(有珠火山を例として)」
西田泰典(北大理)

7. 特別セッション(火山と流体 その2)

招待講演

「北海道における火山活動の現況と気象台による火山観測」

宮村淳一(札幌管区気象台)

「火山観測からみたマグマ・火山流体の挙動」
石原和弘(京大防災研)

「草津白根山の浅部火山流体系」
平林順一(東工大火山流体センター)

「地球化学的手法による温泉水の上昇速度と流動領域の推定」

大場 武ほか(東工大火山流体センター)

12月4日

8. 地球電磁気学の諸問題 その1
9. 地球電磁気学の諸問題 その2
10. 総合討論
11. 閉会挨拶

12. 有珠火山2000年噴火西山火口現地討論会

今後の予定

共同観測:

歪集中帯における比抵抗調査(2004年秋:地震予知計画)
浅間火山の電磁気構造探査(2005年度:噴火予知計画)

2004年度CA研究会:

東京大学地震研にて勉強会形式を中心とした研究集会を企画中

CA研究会(SGEPSS分科会)

代表幹事: 歌田久司(東大地震研)

メーリングリスト

ca@utada-sun.eri.u-tokyo.ac.jp

Web

<http://www.eprc.eri.u-tokyo.ac.jp/DENJIKI/CA.htm>

(2004/05/11 文責: 橋本武志)